

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Tremelimumab+Durvalumab+ PTX[Alb懸濁型]weekly+CBDCA療法

3週毎 4コース予定

非小細胞肺癌

主治医

指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()

スケジュール

		day1	day8	day15
イジユド(トレメリマブ)	75 mg/body	↓		
イミフィンジ(デュルバルマブ)	1500 mg/body	↓		
アブラキサン[パクリタキセル(アルブミン懸濁型)]	100 mg/m ²	↓	↓	↓
カルボプラチン	AUC 5or6	↓		

- 【注意】 *他剤併用時はトレメリマブ、デュルバルマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること
 *トレメリマブ、デュルバルマブはインラインフィルター(0.2または0.22 μm)を使用して投与すること
 *体重30 kg以下の場合のデュルバルマブの1回投与量は20 mg/kgとすること
 *パクリタキセル(アルブミン懸濁型)投与時、インラインフィルターは使用しないこと
 *パクリタキセル(アルブミン懸濁型)は特定生物由来製品であるため同意を取得すること
 *4コース終了後、維持療法(A期)へ移行すること

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

day1 抗がん剤投与1時間半前にアプレピタントカプセル(125mg)1Capを内服

- ① 生食 500 mLにて血管確保 維持(20 mL/時間)
 ② イジユド 75 mg + 生食 100 mL 点滴静注60分(100 mL/時間)

☆初回は60分間観察、2回目以降は省略可能

◎メインの生食でフラッシュ

- ③ イミフィンジ 1500 mg + 生食 70 mL 点滴静注60分(100 mL/時間)

☆初回は60分間観察、2回目以降は30分に短縮可能

◎メインの生食でフラッシュ

- ④ パロノセトロン注0.75 mg+デキサメタゾン注4.95 mg(1.5 mL)+生食20 mL 側管静注

◎メインの生食でフラッシュ

★アブラキサン投与前にインラインフィルター無しのラインに変更すること★

⑤ アブラキサン + 生食 50 mL 点滴静注30分

*アブラキサン1バイアルに対し生食20mLで懸濁後(5mg/mL)、必要量を抜き取り、
空の点滴バッグ(残った生食は全て抜き取る)に注入する。

◎メインの生食でフラッシュ

⑥ カルボプラチン + 5%ブドウ糖液250 mL 点滴静注60分(280 mL/時間)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

day2,3 アプレピタントカプセル(80 mg)1Cap 1× 朝 内服

day2-4 必要時 デキサメタゾン錠 4 mg 1× 朝 内服

day8,15

① 生食500 mLにて血管確保 維持(20 mL/時間)

② デキサメタゾン注6.6 mg(2 mL) + 生食20 mL 側管静注

◎メインの生食でフラッシュ

③ アブラキサン + 生食 50 mL 点滴静注30分

*アブラキサン1バイアルに対し生食20 mLで懸濁後(5 mg/mL)、必要量を抜き取り、
空の点滴バッグ(残った生食は全て抜き取る)に注入する。

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

	1コース			2コース		
	day1	day8	day15	day1	day8	day15
月日	/	/	/	/	/	/
イジユド 開始時刻	↓			↓		
イミフィンジ 開始時刻	↓			↓		
アブラキサン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
カルボプラチン 開始時刻	↓			↓		
確認						

	3コース			4コース		
	day1	day8	day15	day1	day8	day15
月日	/	/	/	/	/	/
イジユド 開始時刻	↓			↓		
イミフィンジ 開始時刻	↓			↓		
アブラキサン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
カルボプラチン 開始時刻	↓			↓		
確認						